

A. 日時 2012 年 11 月 6 日（火）17 時 00 分～19 時 00 分

B. 場所 建築学会会議室

C. 出席者 安藤 啓, 岩本 毅, 大島拓也, 岡野利行, 古賀貴士, 佐久間哲哉, 田端 淳, 永松英夫, 羽入敏樹,
濱田幸雄, 平光厚雄, 宮島 徹, 横山 栄, 吉村純一（敬称略）
欠席者 井上勝夫, 坂本慎一, 中澤真司, 峯村敦雄（敬称略）

D. 提出資料

2012 年度第 3 回音環境運営委員会議事次第

No. 3-0 2012 年度第 2 回音環境運営委員会議事録（案）

No. 3-1 「建築物の遮音性能規準と設計指針」刊行企画書及び同改定小委員会設置申請書, 委員会活動
計画案に関する審議結果の報告（案）

E. 審議事項

1. 前回議事録の確認

- ・ P2 の 28 行目：“環境工学本人会”を“環境工学本委員会”に訂正.
- ・ P2 の 29 行目：“開始”を“開催”に訂正.
- ・ P2 の 36 行目：「OS の際代理発表を許してほしい」との件については「OS の委員会発表については代理発表を許してほしい」という主旨であるので、環境工学本委員会の議事録でその旨明確にするよう、濱田主査から確認する.
- ・ P4 の 28 行目：“音シンポジウム”を“音シンポジウム「集合住宅の遮音性能規準・・・」”に訂正.
- ・ P4 の 31 行目：“11 月 3 日”を“11 月 6 日”に訂正.
- ・ P5 の 12 行目：“円筒”を“検討”に訂正.
- ・ P4 の 18 行目：“音響指標測定指標 WG”を“音響指標測定 WG”に訂正.
- ・ 一部「濱田先生」になっている箇所を「濱田主査」に統一する.

2. 環境工学本委員会の報告

(1) 学術推進委員会報告

- ・ 建築学会・東日本大震災報告書・環境工学分野の報告書に関して：先月開かれたWGに大島委員が出席した。幹事団で作成した目次案をもとに分担等を検討し、「4.7.5 応急仮設住宅の遮音性能」を分担する旨申告した。現段階では音環境運営委員会への依頼事項は無いが、今後具体的な執筆作業に入ると協力が必要になる可能性が考えられる.
- ・ 予算配分方法の見直しについて：次年度の学術推進委員会の予算は約 1,000 万円減額となる。基礎額部分は会費収入連動型として縮小され、貢献ポイントの比率が大きくなる。特に新刊出版と講習会

シンポ開催の実績が従来よりも重視される。環境工学への配分は 1244 万円から 187 万円減額し 1057 万円になる。環境工学本委員会の予算配分方針としては出版物の刊行点数の重みが大きい。

- ・ 学会活動と著作物、著作者名の表記のあり方について：外国人の方を共著者に招いた刊行企画において、表紙に個人名が載らないことが契約時に大きな問題となった事例があった。学会の刊行規定では表紙には学会名のみで個人名を載せないことになっているので、契約に先立って十分な周知をお願いしたい。今回、そのあり方についてアンケートがあるので、ご意見を濱田主査までお寄せ頂きたい。

(2) 審議事項

- ・ 業績候補推薦について：大賞候補は空気環境からどなたかを推薦する方向で幹事団にて検討する。文化賞は推薦なしとする。学会賞（論文部会）選考委員会委員候補は熱環境から推薦する。奨励賞選考委員は退任 2 名のうち 1 名が音環境（坂本委員）であるが、過去の委員選出実績を考慮して建築設備と水環境からそれぞれ 1 名を候補に推薦する。
- ・ 2013 年度大会：研究懇談会は 40 歳未満の研究者にこれから 20 年のビジョンを語って頂く企画を検討しており、決定したら各運営委員会から 1 名推薦する必要が生じる。大会 OS は岩本小委主査にて検討し、「集合住宅における遮音性能の現状把握と今後の展望」を予定している。集合住宅の遮音性能評価水準検討小委員会にて具体的な準備作業を進めて頂くようお願いしたい。
- ・ 刊行物講習会関係：制定から 5 年を経過した AIJES は改訂等の検討が必要であり、音環境では「学校施設の音環境保全規準・設計指針」が対象となっている。音環境規準検討小委にて検討の結果、直ちに改定を急ぐ不都合は認められないが、今後の集合住宅の遮音性能に関する AIJES の動向等を見極めながら、今後継続して改定の時期・内容を検討する旨、環境工学本委員会に報告した。
- ・ シンポジウム実施計画：第 72 回音シンポジウム スピーチプライバシーの評価と制御 ～音声情報漏洩防止の観点から～ 2013. 02. 22（金）13 時～17 時、および第 73 回音シンポジウム 「(仮) 集合住宅の遮音性能規準と遮音設計指針」 2013. 02. 26（火）13 時～17 時半、が承認された。会員と会員外の参加費に差をつけること、U-stream 中継のためのアルバイト代計上、の予算調整をおこなった。
- ・ 小委員会・WG の廃止/設置申請および 2013 年度活動計画：申請はすべて一括承認された。
- ・ 会員外委員委嘱について：固体音小委から 1 件提出している。委嘱数が多いので、理事会の結果によっては何らかの対応が必要となる可能性がある旨、委員長から発言があった。
- ・ 委員の委嘱：室内音響小委員会で 1 名委員委嘱の追加があった。

(3) その他

- ・ 環境工学本委員会の委員長選挙が行われる予定。
- ・ 本年度予算執行状況：特に遠方の委員がおられる小委においては着実な予算執行をお願いしたい。

3. 審議事項

- (1) 「建築物の遮音性能規準と設計指針」刊行企画書及び同改定小委員会設置申請書、委員会活動計画案について

大川平一郎氏から提出された標記提案はメール審議の結果承認しないことになった。審議結果を大川氏と共同提案者の安岡正人先生に濱田主査から電話で伝えた際、大川氏から理由を示してほしいとの話があった旨濱田主査から経緯の説明があった。資料 3-1 をもとに、理由を示すことの可否と回答内容について審議をおこなった。審議の結果、文書で審議結果を残すことになり、下記の構成による回

答文書を提出することになった。文書は主査・幹事で作成して委員に確認する。また、メール審議の内容も記録に残すことを検討する。

- ・初めに審議の結果提案が承認されなかったことを明確に記し、その下部に理由を記載する。
- ・理由は、AIJESの目的と検討経緯に触れ既に制定作業が進捗していること、申請された企画と集合住宅の遮音性能に関するAIJESの並列刊行が会員に混乱を生じさせる可能性、今後のAIJESの発刊計画が建築物全般をカバーしており提案案件との整合性確保に危惧があること、の3点とする。
- ・資料3-1の案に示された最後の4行は削除し、事実を淡々と伝える文書とする。

(2) 次期音環境運営委員会の体制について

濱田主査から、主査の任期終了とともに慣例によって交代したいとの発議があり、次期主査候補として岡野幹事を推薦する提案があった。提案は承認された。

4. 各小委員会・WGの活動報告

① 固体音小委員会（中澤主査）

10/4 開催。東大生研の音響実験室を借りて11/9, 10 に行う聴感実験の概要説明。床衝撃音レベルが30~40dBの音源データがないので騒音制御工学会床衝撃音分科会に利用可能なデータがないか確認している。小委員会設置申請書案と活動計画案について検討。次回開催は12月で調整中。

② 集合住宅の遮音性能評価水準検討小委員会（岩本主査）

9/27 開催。引き続き、現在の建物の生活音に関わるデータを各委員から取集中。分析を進めると同時に、集合住宅というものが社会的にどういう立ち位置にあるかなどを検討中。次年度の設置申請の計画、次期も岩本主査が続投する。次回は11/24 開催予定。

③ 建築物音響測定法小委員会（宮島主査）

開催なし。次回11/22 開催予定。報告事項なし。

④ 室内音響小委員会（羽入主査）

10/10 開催。次期の体制と活動内容について検討。次期主査は千葉工大の佐藤史明先生に依頼。傘下の3WGは、次年度以降も多少の内容変更はあるが継続する。次回は12/19 開催予定。

音響指標測定研究WG：

9/25, 10/22 開催。次回は11/9 予定。シンポジウムに向けてデータ解析のまとめ作業中。

スピーチプライバシー研究WG：

10/10 開催。次回は12/4 か11の開催予定。シンポジウムに向けて内容を検討中。

室内音響設計事例集企画準備WG：

10/3 開催。事例集の趣旨確認と方向性の検討中。各委員の周辺で利用者となりうる方々へのヒアリング結果を次回持ち寄る。次回11/26 開催予定。

⑤ 音響数値解析小委員会（坂本主査）

開催なし。次回12月開催予定。報告事項なし。

音響数値解析ソフトウェアの調査・開発WG（大島主査）：

本日（11/6）開催。今後も学生・実務者を対象とした社会貢献として、チュートリアルを継続していく上での具体的な内容を検討予定。

⑥ 音環境規準検討小委員会（古賀主査）

11/2 開催。遮音性能規準に対する安岡先生のコメントの中で、集合住宅の部分しかないという指摘もあり、その他の部分の規準作成を急いで進めていきたい。2回くらい先の運営委員会でのWG申請と再来年度に刊行小委員会の設置ができればと考えている。その他の設計指針作成のためのマップを検討しており、これらの準備を踏まえて2月のシンポジウムを迎えたい。

学校施設のAIJES改定に関して、課題整理のために音運営委員会傘下の委員と現行AIJES執筆委員の方々から意見を収集したい。古賀委員から濱田主査に要領を提出し、意見募集をおこなう。

次のステップに進むには、2月のシンポジウムまでに外部査読を終えて音環境運営委員会から刊行委員会に結果を報告する必要がある。古賀委員から刊行小委の平松主査に安岡先生のコメントが外部査読かオブザーバの意見かを確認してほしい。

⑦ 企画・広報WG（峯村主査）

10/2 開催。次期主査は中澤さんをお願いした。文献調査による研究動向調査は積み残したデータ入力を行いながら、検索システムに盛り込むべき機能を検討し、バージョンアップを図っている。検索システムをリリースした際の周知は、メールあるいは大会での紹介を予定している。

集合住宅の住まい方マニュアルは2015年3月頃の刊行を計画しており、参考になる本や見本などを持ち寄って具体的なイメージをつくり、出版社や学会の出版関係担当者へのヒアリングを行って出版を具体化する可能性を検討していく。次回は12/2開催予定。

⑧ その他

特になし

5. 他学会・研究会の予定

建築音響研究会：次回 11/15 建築研究所，12/14 旭川（騒音振動研究会と共催）。来年の予定は、2/20 九大（テーマは数値解析），3月浜松，2月頃に大阪フェスティバルホールの見学会とそれに関連した研究会を検討中。

騒音・振動研究会：

特になし

6. その他

特になし

7. 次回予定

2月25日（月）17:00～

以上